

# 第66回 宇部まつり ソーラーカー工作教室報告書

- ◆日時 : 2017年11月5日(日) 11:00~15:00
- ◆天候 : 晴れ
- ◆場所 : エコ広場(西日本シティ銀行駐車場)
- ◆担当 : 溝田代表・松井  
上田・饒村・田中・平泉(ボランティア)  
北見・長井(山口県地球温暖化防止推進員)
- ◆実施内容 : 小学生を対象に廃材ペットボトルを利用してミニソーラーカーを工作した。
- ◆参加人員 : 30名(幼稚園:3名、小学校1年:6名、2年:9名、3年:3名  
4年:2名、5年:4名、6年:0、中学生:3名)

## ■実施方法

1. 宇部地域の山口県地球温暖化防止推進員(以下推進員)と協働し実施した。
2. 工作キット作製

10月17日(火)20日(金)の午後、UNCCA事務局・推進員工作ボランティアが集まり工作キット32台分(予備2台)を作製した。

材料のうちモータ、ソーラーパネルは宇部市社会福祉協議会の助成により購入した。



工作キット(手順書も入っている)

3. 工作教室

- ・当日参加者を受付、・11:00・11:45・13:00・13:45  
・14:30の5回、各6名、合計30名がソーラーカーを工作した。
- ・マンツーマンによる工作指導をおこなった。
- ・配った手順書をみながら工作指導をおこなった。  
(工作時間は約30分)
- ・工作後、太陽光で走ることを確認した。



ソーラーカー工作教室ブース

## ■実施後の感想

1. ボランティア・推進員との協働

人数が増え、協働作業でキット作りが捗った。

また、目標であったマンツーマンによる工作指導が実現した。

2. 小学生を対象にしていたが、掲示漏れのため、中学生や幼稚園児の参加者があった。
3. 隣のエフエム-きららサテライトスタジオの宣伝もあって申し込みが多く参加できなかった子どもが大勢いた。工作台数30台は指導員の負荷から調度良いが、参加できない子どもを少なくする努力が必要(人とお金の問題)
4. 1日晴天に恵まれて工作後の試運転では、全員がソーラー発電の効果を体験することができた。

■写真



中学生も交じて工作



試運転して最終調整

■添付資料

- 工作教室配布資料